２０１９年度　理事長所信（案）

理事長　藏元　国明

２０１９年度スローガン

「率先垂範」

～自己の行動が　未来を創る～

＜はじめに＞

霧島青年会議所（霧島ＪＣ）は、青年の歩みこそ故郷の発展であり「明るい豊かな社会」の実現につながると信じる先達により１９８８年に設立され、常に地域と向き合い社会の課題解決に向けた事業を展開し、様々な効果を地域に波及させてきました。しかし、時代の流れは想像以上のスピードと多様性をもち流れ続けているため、我々は立ち止まることなく率先して変化を捉えて行動する必要があります。併せて、「明るい豊かな社会」の実現の理想へ向け確実な一歩を踏み出すため、２０１７年の霧島ＪＣ創立記念式典の場で、関係諸団体、シニアの先輩方、来訪ＪＣに向け「未来ビジョン」を発表させていただきました。青年会議所（ＪＣ）が単年度制である以上その年その年の活動があるのは当然のことではありますが、大きな理想を成し得るには着実に歩を進めるために掲げた未来ビジョンに沿った形で物事を構築することが肝要です。

本年は、激動する時代の変化を捉え危機感を持って行動するとともに、２０１７年に思い描いた「未来ビジョン」を念頭に少しでも近づけるような活動をしてまいります。

＜会員一人ひとりの資質向上から機動的組織への進化＞

会員の資質向上は、個人のスキルアップという観点と合わせて、組織力の強化を図る上では必要不可欠です。会員の多くがＪＣへの入会目的が、自らのスキルアップを揚げている現状があります。そして、組織を動かすのは、いうまでもなく人であり、だからこそ組織の価値は人で決まるという点からも、迎え入れたメンバー一人ひとりに、研修やＪＣ活動を通じて、地域のリーダーたる資質を身に付けてもらうこと、そして、達成感と感動を分かち合い、地域の問題に取り組む積極的な姿勢を身に付けてもらうことが、組織として、迎え入れたメンバーに対して果たすべき責任もあると考えます。また、地域経済を担う経済人としての成長も同時に求めていかなければなりません。ＪＣで得られる学びは、青年会議所という組織を超えてより活用されるものです。地域を変えるべく大きな力を得るには会員一人ひとりの能力を向上させ、自己研鑽の機会を多く創出することが地域のリーダーとして率先して行動できる人財を輩出し続けること繋がります。会員個々の能力を向上させることが霧島ＪＣの魅力を更に高めることとなり、地域で活躍できる人財となると確信いたします。

また、組織運営において、理事会構成メンバーとそうでないメンバーとの情報の共有がスムーズにできていない状況があります。理事会で決定された事項、連絡、報告については、執行部もしくは、各委員長により速やかに会員に対して周知し情報の共有を図ることが必要です。

組織を運営していく上で、会員の意思の統一を図る手法を構築し、状況に応じて速やかに運用ができるようになることで青年会議所をより質が高くつながりのある機動的に行動できる組織へと進化すると確信します。

＜戦略的な広報発信から拡大へ＞

これまで私たちは、「明るい豊かな社会」を築き上げるべく様々な事業を実施し、そのたびにあらゆる媒体を用いてＪＣ運動の発信を実践してまいりました。しかし、私たちが行う運動について、想いや目的まで伝わっているか私は疑問に感じることがあります。事業を実施するにあたり、対象者に対して我々の考えや目的が伝わっていなければ、それは活動に終始したものでしかなく運動への昇華も望めません。事業立案に当たっては継続して地域のニーズを捉えながら、我々の想いや目的がしっかりと伝わるように戦略的に広報活動を行う必要があります。

まずは、ＪＣ運動をさらに力強く推進するために、霧島ＪＣの認知度を高めていくことが必要であると考えます。事業を実施するにあたり、主催団体がどのような団体かわからないままでは、事業への参加や参画する事への妨げにもなります。日頃からＪＣ活動・運動の情報発信を積極的に行い、霧島ＪＣがどのような目的を持って活動・運動を推進している団体であるかを周知させることが重要です。さらに、多くの人と協働して運動していくためには、伝えたい人一人ひとりと向き合い、この運動の意義がどこにあるのかという点をしっかりと説明し、理解を得る必要があります。相手に理解してもらえれば、運動はそこから更に伝播していきます。私たちの強みには組織力があります。１人では伝えられないことも、メンバーが協同して伝えていくことで、多くの方との協働に繋がる運動へと広がってくと確信いたします。

当青年会議所において喫緊の課題であるのが会員拡大です。現在、各地のＪＣに限らず各青年団体やまちづくり団体の会員が減少傾向にある中で、４０歳までしか在籍することができないＪＣにおいてこのまま新たな会員を迎え入れなければ、数年のうちに会員数が半減する状況にあります。会員拡大は、組織の存続という側面だけではなく、市民意識を変革することでより良い社会の実現に取り組む団体としての意義を維持するためにも重要なことです。

これまでの会員拡大は、主に在籍会員に近い人間関係によってなされてきました。しかし、減少する会員数の中でこの手法のみで会員を拡大することはこの先困難であると考えます。青年経済人の育成という社会的需要に対応する機能も持ちながらも活動状況の認知度が低い現状に正面から取り組み、様々な媒体を利用する事で霧島青年会議所の存在意義を社会に広く知らしめ、組織の趣旨に賛同して頂けるメンバーを増やし、地域のリーダーとして活躍できる人財を育成する事で、活動・運動の効果を最大限に広げることができると確信いたします。

＜各種団体と連携したまちづくり・ひとづくり＞

現在、人口減少・少子超高齢社会の到来により、地域社会の活力の減退が懸念される中、社会のことがらへの無関心さから社会参画は少なくなり、核家族化や地縁関係の薄れにより社会的なつながりが失われています。我々は、地域の現状から目をそらすことなく積極的に関心を持ち主体として、諸問題解決に向け危機感を持って行動しなければなりません。

まちづくりとは、社会や文化、経済や環境など生活の根幹を構成するあらゆる要素を含めた暮らしそのものを豊かにするための活動です。そのため短い期間で完了するものではなく、長い年月をかけ持続的に行われる必要があり、単年度制という制度によって、方針や組織内容を毎年変えながら運動する我々であっても、まちづくり事業においては持続性というまちづくりの本質をしっかりと捉え運動を行う必要があります。また、まちづくりは我々だけが行っているものではありません。当然のことながら、行政や各種まちづくり団体など、我々以外にもまちづくりを行う組織や団体は存在します。それぞれスタイルに違いはあっても、地域の発展という同じ志を持っているはずです。他団体との効果的な協働を図り、それぞれの経験やノウハウを持ち寄って力を合わせていくことも必要です。そうすることで、我々が活動する地域におけるまちづくりの機運がさらに高まり、ひいては、まちの持続的な発展に繋がります。また、我々が行うまちづくりには、新たな創造性が必要であり、そこに新しい感性を吹き込むため、自由な発想を持った学生など若い世代を効果的に巻き込んでいくことも必要です。そのために、地域の教育機関とパートナーシップを築き地域の若者に新しい時代に合わせたまちづくりの社会実験を通じて学びを得る場を作ります。

また、公職選挙法改正により、選挙権が１８歳以上に引き下げられたことから若年層のまちづくりや政治への参加意識の醸成が求められています。このような背景の中、未来を担う子どもたちが、様々な社会参画の経験により、地域に積極的に関心を持ち活動する主体として成長していけるよう、子どもの段階から社会参画する取組を推進することが重要です。その活動を通じて彼らが地域住民としての自覚を持ち、主体的にまちづくりに参画する意識を醸成することができ、地域に活力を生み出す大きな力になると確信いたします。

＜おわりに＞

我々は、会社、家族の協力、地域の皆様、関係各位のご理解のもと青年会議所活動を行っています。

私は、「住み暮らす地域の発展のために」という想いを持つ仲間を一人でも増やし共に活動していきたいと考えています。人は一人ではなかなか目的を達成できることができません。言い換えれば、人は一人では生きていくことができません。私は皆様の支えのもと本年度理事長として公益社団法人霧島青年会議所の舵を握ります。私は、現状維持を望みません。現状維持は停滞を意味し、停滞は時代に乗り遅れ後退となります。私は前進し続け、我々が活動する地域の未来が明るいものになると信じ、会員の皆さんの先駆けとなり全力で突き進みます。

基本方針

機動的組織への進化

会員一人ひとりの資質向上

全会員での会員拡大

効果的な広報戦略からの運動発信

各種団体と連携したまちづくり・ひとづくり

多くの機会を提供できる組織運営

意見1：スローガンの「率先垂範」の意味を教えてください。

対応1：人の先頭に立って物事を行い、模範を示すこと。

＜はじめに＞

意見２：全体的に文章（一文）が長いので、区切った方が読みやすいのではないか。

対応２：文章を区切り修正いたしました。

意見３：背景にある「国民の社会参画が少なくなり」とはどういう意味か。

対応３：社会に対してあまり関心がなく、主体的立場ではなく受動的になっている。

意見４：社会参画が少なくなったことと社会的つながりが薄れたことを深堀してみてはどうか。

意見４：背景に関しては各セクションに修正して記載しました。

＜会員一人ひとりの資質向上＞

意見５：3行目の接続詞がおかしいので修正してください。

対応５：修正しました。

意見６：3行目後半から5行目にかけての文章の繋がりがおかしいようなので修正してください。

対応６修正いたしました。

意見７：会員一人ひとりの資質向上と機動的組織への進化は、まとめて文章を構成した方が良いのではないか。

対応７：まとめて文章を構成しました。

＜全会員での会員拡大＞

意見８： 接続詞がおかしいところが数カ所あるようなので修正をお願いします。

対応８：修正いたしました。

意見９：全体的にオブラートに包みすぎていて読み取りづらいので、思っていることを率直に書いた方が良いのではないか。

対応：自分自身が思うところを書かせていただきました。